

JENESYS2019ASEAN 招へいプログラム第 2 陣の記録

青少年スポーツ交流（ラグビー）

対象国：ASEAN10 か国及び東ティモール

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」の一環として、2019年9月13日から21日まで、ASEAN10 か国（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）及び東ティモールから、ラグビーに関心を有する青少年（男女）及びラグビー協会役員 164 名が訪日しました。

一行は静岡県を訪問し、日本ラグビーフットボール協会の協力の下、日本人を含む 12 か国の青少年によるタグラグビーの合同練習や各国構成チームでの交流試合及び交流会を行い、国を越えた交流が行われました。また、静岡県の高中生や大学生との学校交流等を通じて、同世代の日本人青少年との友情を育み、日本への理解を深めました。

9月19日には外務省を表敬、そして9月20日にはラグビーワールドカップ 2019 開幕戦を観戦しました。参加者は、それぞれの関心事項や日本での体験を日本滞在中、そして帰国後に SNS を通じて発信しました。帰国前の成果報告会では、今回の訪日経験を家族、友人、学校など周りの人々へ伝えるためのアクション・プラン（帰国後の活動計画）を発表しました。

【参加国・人数】11 か国・164 名

164 名（インドネシア 15 名、カンボジア 15 名、シンガポール 15 名、タイ 15 名、東ティモール 15 名、フィリピン 15 名、ブルネイ 14 名、ベトナム 15 名、マレーシア 15 名、ミャンマー 15 名、ラオス 15 名 ※50 音順）

【訪問地】

東京都、静岡県

2. 日程

9月12日（木）または9月13日（金）

【来日】成田／羽田国際空港より入国

9月13日（金）

【オリエンテーション】

9月14日（土）

【講義聴講】ラグビーを通じた国際交流

【スポーツ交流】タグラグビーのルール説明、合同練習（混成チーム）

9月15日（日）

【スポーツ交流】タグラグビー合同練習（混成チーム）

9月16日（月）

【文化体験】飛龍高等学校和太鼓部との太鼓交流

【スポーツ交流】タグラグビー フレンドリーマッチ（混成チーム）

【関係者との交流会】静岡県庁／静岡県ラグビーフットボール協会／日本ラグビーフットボール協会／東海大学付属静岡翔洋高等学校／静岡県立沼津工業高等学校

9月17日（火）

【表敬訪問】静岡県庁、【講義聴講】静岡県庁にて自治体概要説明

【視察】テーマ「国際目標（SDGs）理解」富士山エコパーク

9月18日（水）

【学校交流】静岡県立大学

【学校交流】藤枝順心高等学校（タイ、ベトナム、ラオス）／静岡県立沼津工業高等学校（マレーシア、シンガポール）／静岡サレジオ高等学校（フィリピン、インドネシア、東ティモール）／静岡聖光学院高等学校（ブルネイ、カンボジア、ミャンマー）

9月19日（木）

【ワークショップ】成果報告会準備

【表敬訪問】外務省、【講義聴講】外務省にて日ASEAN関係にかかる講義

9月20日（金）

【成果報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

【ラグビーワールドカップ2019開幕戦観戦】

9月21日（土）

【離日】成田／羽田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

	
<p>9月13日【オリエンテーション】</p>	<p>9月14日【講義聴講】 ラグビーを通じた国際交流</p>
	
<p>9月14日～16日【スポーツ交流】 合同練習・フレンドリーマッチ</p>	<p>9月14日～16日【スポーツ交流】 合同練習・フレンドリーマッチ</p>
	
<p>9月16日【文化体験】 飛龍高等学校和太鼓部との太鼓交流</p>	<p>9月16日【関係者との交流会】</p>



9月17日【表敬訪問】静岡県庁、
【講義聴講】静岡県庁にて自治体概要講義



9月17日【視察】テーマ「国際目標
(SDGs) 理解」富士山エコパーク



9月18日【学校交流】
静岡県立大学



9月18日【学校交流】
藤枝順心高等学校



9月18日【学校交流】
静岡県立沼津工業高等学校



9月18日【学校交流】
静岡サレジオ高等学校



9月18日【学校交流】
静岡聖光学院高等学校



9月19日【ワークショップ】
成果報告会準備



9月19日【講義聴講】
外務省にて日ASEAN関係にかかる講義



9月19日【表敬訪問】
外務省外務大臣政務官 中谷真一氏



9月20日【成果報告会】



9月20日【ラグビーワールドカップ
2019開幕戦観戦】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ インドネシア

2019年のJENESYSプログラムを通じて日本を訪問したことで、日本社会の文化や倫理的な違いを幅広く探求する機会が与えられました。このプログラムに参加することで、規律を守ることや責任を持つことの重要性を自然と学ぶことができました。同時に、互いに協力し合うことが非常に重要であることを認識しました。ASEAN諸国間の関係など、どのように連帯感を維持するか、自ら行動していきたいです。

◆ マレーシア

このプログラムは、時間を守ること、環境を清潔に保つことの大切さを教えてくれました。また、他者を尊重し、団結した社会を築いていきたいと思わせてくれました。また、日本におけるエコロジーに対する取り組みは、是非マレーシアでも実践されるべきだと思います。このような、技術と文化の交流は、今後、より強化されるべきです。また、静岡の日本人コミュニティはとても素晴らしく、こういったプログラムが若い世代や世界中の人々によって注目され実践されていけば良いと思います。

◆ ベトナム

日本人は、効率的かつ先進的であり、礼儀正しいです。常に友好的で、伝統的な文化的価値を長きに渡り維持し、発展させた日本人に私は非常に良い印象を受けました。それだけでなく、様々な分野における成長は目覚ましく、持続可能な開発に余念がありません。先進性と環境への十分な配慮があれば、持続的に発展していくことは確実だと思います。加えて、日本は素晴らしい文化だけでなく、特に富士山という誇るべき観光地がある国でした。訪れた場所の景色はどれもとても美しく、衛生的で清潔に保たれている環境にも驚きました。道路や学校でもゴミが落ちているのを見ませんでした。

◆ カンボジア

美しい富士山が見えました。さらに、日本の文化と歴史への理解も深まりました。この訪問のハイライトは、ラグビーを通じて他の国の人々との友情を育んだことです。ラグビーを通じて他の国と交流し、それらの国の伝統を理解できたことが大きな収穫でした。カンボジアの人々のために、このプログラムの、特にラグビーから学んだ教訓を共有する機会を帰国後に実践するのが楽しみです。

◆ タイ

このプログラムを通じ、多くのことを経験することができ、私はとても幸せです。外国人の友達と共通言語でコミュニケーションをとること、言語のバリアーを超えて交流することなど、このプロジェクトは、国や人種を超えて協調し合うことで幸せを感じられる良い経験を与えてくれました。

ASEANの友人と共に、異なる文化を共有できたこと、ラグビーを学んだこと、また、ラグビーワールドカップのオープニングセレモニーを見る絶好の機会に恵まれたこと、全て忘れられない経験となりました。

◆東ティモール

帰国後、まず、ラグビーについてのより多くの情報を東ティモールの若者たちと共有したいと思います。そして、ASEANの新しい国として、私たちにとって参考になるよう、日本の文化と経済成長について周りの人たちに伝えていきます。

◆ミャンマー

国同士のより良い関係を構築するために、尽力していきたいという意識が芽生えました。ミャンマーと日本は仏教の国であり、共通点として、人柄は柔らかく、シンプルで、礼儀正しく、正直であると感じました。異なる点としては、日本では、全ての人がスポーツを楽しむ権利を持っていますが、ミャンマーではスポーツ文化をあまり推進しておらず、スポーツをすることがあまり推奨されませんが。帰国後、スポーツをするための素晴らしい施設や機会を提供してもらえよう伝えたいと思います。

◆ラオス

JENESYS2019 Youth Sports Exchange (Rugby) プロジェクトに感謝します。初めての来日でしたが、日本のASEAN諸国間への友情にとっても感謝しています。帰国後、友人たちに素晴らしい経験を伝えます。私の人生で最高の時間であったことを決して忘れません。特に、学校交流の際、学生たちの親切な対応や、利発な言動、きれいな校舎が印象的でした。このプロジェクトから大きな恩恵を受けました。

◆シンガポール

このプログラムは、外国の文化を理解するのにとても役立つと思います。大きな集団での動き方や、参加者同士のチームワークの大切さを学ぶことに大変役立ちました。一生に一度のチャンスであり、異なる国の人々と一つのプロジェクトに参加し、その経験を通して、異文化の交流が実現されました。このプログラムに参加する機会を与えてくれて、本当に感謝しています。

◆フィリピン

日本の学校と同じように、フィリピンでも、スポーツを通して若者に良い学びの場を提供することが教育に良い影響を与えられるということを学びました。ラグビーを楽しみ、友情を築き、互いに尊重し合うことを学んでいけるとと思います。加えて、フィリピンと比較した日本における技術の進歩の違いに驚きました。また日本の伝統文化のパフォーマンス等を通じて、日本のおもてなしの精神を肌で感じることができました。

◆ブルネイ

ラグビーを体験したので、ラグビーについてさらに学びたいです。また、日本の若者の和太鼓演奏を見て、日本の伝統音楽をもっと深く探求したいと思いました。富士山エコパークについても、もっと勉強し、私の国でもエコ活動を始めるきっかけにしたいと思います。

5. 受入れ側の感想

◆静岡県立大学

成果報告会では、学生たちが口々に、「海外の高校生と意見を交換できて本当に楽しかった」「劇への反応がとても良くて、気持ちよく演技できた」「伝承を話す準備をしっかりとってきてくれたことが嬉しかった」「グループワーク時は時間がなくあまり話せなかったが、昼食時にたっぷり話せて距離が縮まった」など、達成感を口にしていた。学生たちにとって、大変貴重な機会となった。今回のプログラムを通じて日本との絆が深まることを期待したい。

◆日本ラグビーフットボール協会

スポーツを通じて、日本がASEAN 諸国及び東ティモールと言語を超えた交流が持てたことは大変感慨深い。160名を超える参加者からのSNSによる情報発信は、効果的だった。今回のプログラムで知り合った友人との相互交流や、日本への興味・関心を維持することが重要である。

6. 参加者の対外発信

 <p>I'm so glad that we're friend , I know our friendship will never end ❤️❤️ I'm really happy this Program 🌟9days is a special 🌟 I hope we meet again 🌟 #Miss #JENESYS2019 🥰</p>	 <p>Today we participated in the tokinosumika sports place to see students from Hiryu High School Japanese show their drums for us. Thank you Hiryu High School for learning us how to play drums and we really enjoyed it. #JAK0913</p>
<p>【シンガポール青年】私たちが友達であることがとてもうれしいです。私たちの友情は永遠です。私はこのプログラムに参加できて本当に幸せです。この9日間は特別です。またみんなに会えることを祈ります。</p>	<p>【東ティモール青年】今日は、飛龍高校の学生たちが、私たちのためにドラムを見せてくれました。飛龍高校、ドラムの演奏方法を教えてくれて、本当に楽しかったです。</p>

Fuji Eco Park គេលេងកន្លែងគេលេងយកបានម្តងយល់ពីរបៀបបែងចែក ឧស្ម័នកាបូន និងគំរូដើម្បីសម្រេចបាននូវគោលដៅប្រកួតប្រជែង ក្នុងការកាត់បន្ថយការបំពុលបរិស្ថាន និងការគ្រប់គ្រង ធនធានទឹកស្អាត និងការកាត់បន្ថយការបំពុលបរិស្ថាន ។

Day 5 (17th September 2019) - In the afternoon, we had a visit to the Mt Fuji Eco Park, where we learned about how Shizuoka and other regions in Japan divide, control, and recycle their trash. Their facilities are filled with advanced technologies and powerful human resources to reduce their trash and help in keeping their environment extra clean.

#CAMBODIA #JAPAN #ASEAN #JENESYS #TAGRUGBY #JAB0913
 翻訳を見る



11月26日 21:58

ថ្ងៃទី៨ (២០ កញ្ញា ២០១៩) - គេឃើញថាបង្កើនស្មារតីរបស់យើងយ៉ាងមាំមួន ដើម្បីអនុវត្តនូវគោលដៅប្រកួតប្រជែង ក្នុងការកាត់បន្ថយការបំពុលបរិស្ថាន និងការគ្រប់គ្រង ធនធានទឹកស្អាត និងការកាត់បន្ថយការបំពុលបរិស្ថាន ។

Day 8 (20th September 2019... もっと見る
 翻訳を見る



【カンボジア青年】5日目(2019年9月17日) -午後、私たちは富士山エコパークに行きました。富士山エコパークでは、日本において、人々がゴミを分別し、コントロールし、リサイクルしている方法について学びました。施設は、日本の非常にきれいな環境を保つために、高度な技術と強力な人材を備えています。

【カンボジア青年】8日目(2019年9月20日) -ツアーの締めくくりに、東京味の素スタジアムでラグビーワールドカップ2019を見る機会に恵まれました。開幕式の全てが息をのむものでした。試合は、常にワクワクし、私たちは両チームの選手を応援しました。間違いなく、これは忘れられない素晴らしい経験です。

9月19日
 Kegiatan hari ini, yaitu berkunjung ke kemenlu dan ditutup dengan dinner di lantai 44. It was so funnn
 #JAA0913
 #JENESYS2019
 #JENESYSKREATIF
 翻訳を見る



9月19日
 Sistem pendidikan di Jepang Terbaikkkkkk.....
 Sekolah Menengah Teknikal Sinamazu, Shizuoka. Selamat menyambut Ulang Tahun ke 80.....
 #jenesys2019
 #japan
 #asean... もっと見る
 翻訳を見る



【インドネシア青年】今日の活動は、外務省を訪問し、高層階のディナーで締めくくりました。とても楽しかったです

【マレーシア青年】日本の教育システムは最高です。静岡県立沼津工業高等学校 80周年おめでとうございます。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

◆インドネシア

- ① JENESYS2019 活動の報告書をまとめる。
- ② インドネシア語版ラグビーのチュートリアルビデオを作成する。
- ③ 実施後、SNS へアップロードし、関係機関への JENESYS2019 に関する報告と今後の推奨をする。

◆マレーシア

実施時期：2019 年 11 月まで

対象：学校の先生、友人、家族

方法：SNS で発信。レポートを作成し、学校のクラスや部活で以下について発表。

- ① 日本人の時間管理方法
- ② 日本の清潔さ、エコへの取り組み
- ③ 日本人の精神性



◆ベトナム

① タグラグビーについて、学校の職員や教員、生徒を対象に SNS や公式の WEB ページで情報をシェアする。また授業時間を利用して発表し、様々なスポーツ大会にタグラグビーを導入する。

② 日本のゴミ施設の廃棄物の分類・処理・リサイクルのしくみについて、家族や学校、親しい人を対象に文や写真、ビデオをブログ・SNS に頻繁に載せる。エコに関するクラブ活動中、ワークショップを開催し、環境保護キャンペーンを開始する。

③ 日本の高校での芸術活動について、家族や学校を対象に写真や動画を個人のページに掲載したり、学校の公式ホームページを通して掲載する。芸術に関するクラブを発足させ、地方の各日本語センターと連携して日本文化に関する宣伝をする。

GIÁO DỤC – VĂN HÓA

Giáo dục:
- Đăng tải hình ảnh, video thu được sau chuyến đi lên mạng xã hội cá nhân hoặc qua trang web chính thống của trường (01/10/2019 -...)
Thành lập và triển khai các câu lạc bộ về nghệ thuật.
Văn hóa:
- Mời cả nhân sự ý thức về việc giữ gìn vệ sinh, tác phong làm việc.
- Phối hợp thực hiện cùng với các trung tâm Nhật ngữ tại địa phương để tuyên truyền về văn hóa Nhật Bản.



◆カンボジア

① 学校や団体との協力を呼び掛ける活動

- ・ タグラグビーを紹介し学生の興味を引き起こし、スポーツの大切さを教える。
- ・ カンボジアの教育・スポーツ・青少年省の協力を得ながら国内外団体の援助を捜す。

② 活動の情報共有・広報活動

- ・ SNS を利用し広報するほか、社会的なイベントの場を利用し普及する。
- ・ JENESYS プログラムについて後輩たちと情報共有し、アドバイスなどを積極的にする。

③ 環境とライフスタイルについての紹介活動

- ・ ゴミ分別や削減、再利用などを自ら始める。
- ・ 家族や学校、地域に伝える。



◆タイ

①日本文化の発信

- ・各自、学校の自分のクラスで日本に関する発表を行う。
- ・Facebook、インスタグラム、Twitter 等のソーシャルメディアを利用して発信する。



②タグラグビーのプレイ方法を発信

- ・タグラグビーの安全かつ正しいプレイ方法に関する指導ビデオ教材を作成する。

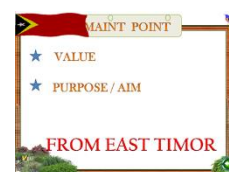
③適切なゴミの分別方法の発信。

- ・ゴミ箱が設置されていない学校ではゴミ箱を新たに設置し、また、すでに設置されている学校を含め、校内のゴミ箱にゴミの分別表示をとりつける。

◆東ティモール

①タグラグビーとその価値を学校や周りの人に教える活動や、強い選手を集めトレーニングを実施。

- #### ②富士山エコパークから学んだゴミに関する考え方を、普及する。 ペットボトルがリサイクルされて、洋服になったりすることを周知し、ゴミを捨てないよう促す。ペットボトルの利用を減らす。



◆ミャンマー

①ミャンマーについたらすぐに、今回の経験について伝える話し合いを持つ。

②タグラグビーを紹介し、一緒にプレーする。

③私たちの活動を紹介する Facebook のページを立ち上げる。

④日本での経験を伝えることで、私たちの国と日本の違いについて説明する。

対象：同じ学校や大学の他の学生たち、友人、家族、そして近所の人たち

◆ラオス

タグラグビーからの学びをラオスにも広める。

実施時期：2019年11月1日から

方法：ラオスラグビー協会の Facebook あるいは YouTube を活用。

対象：地域の学校や子供たち、ひいては全国へ。



◆シンガポール

タグラグビーの教室を開催し、人と人との交流を生む。スポーツを通じ、友情を深める活動をする。単にスポーツ大会を実施するだけでなく、精神や考え方についてレクチャーを行う。対象者：約7,000人の生徒。スポーツ大会へは16チーム参加を目標とする。

工夫：大会の一か月前に短いクイズを使い、大会と日本のプロモーションのためにキャンパス内で宣伝。約7,000人の生徒がおり、クイズを通して学んだことを伝え、日本についての意識を高める。

◆フィリピン Group A

- ①最高学生自治会とフィリピンボーイスカウトで、生徒のためのプロジェクトを企画し、日本を取り上げる。セミナーや講習会を実施し、JENESYS で学んだ事や体験をクラスメート、友人、家族に伝える。より良いフィリピン国民となるために、どの様に日本での経験を役立てるかということをお互いに伝える。
- ②ゴミをお金にするプロジェクト。フィリピンでの固形ゴミの問題を解決する為の計画。教育省を通して、セミナー、コンベンションを行う。
- ③自分の経験をフィリピンのみんなに話し、勉強会を行う。日本への好奇心を広める。近代化と大切な価値観に関心を持ってもらい、テクノロジーと文化の面で日本とフィリピンのパートナーシップを結ぶ。

◆フィリピン Group B

- ①SMART (S-specific, M-easurable, A-attainable, R-elevant, T-time bound) な計画を立てる。ラグビーを中心としたグループを作り、トレーニングして関係各所に紹介し、潜在的な才能を発掘する。
- ②ラグビー協会との関係を強化。サポートを得て、ラグビープログラム続けられるようにする。
- ③フィリピンの子供たちにラグビーのプロモーションを実施。先生や、学生コーチからのアドバイスを元に適切なラグビーの実施を目指す。関係各所で、事前に話し合い、トレーニングメニューの概要を作成。標準化をはかる。ラグビー実施のモデル校をつくる。全ての学校、地域でプロモーションを行う。

◆ブルネイ

- ①日本文化体験（伝統楽器和太鼓）のビデオを見せ、家族や友人に伝える。
 - ②校長先生にまず報告し、校長先生の了解が得た上で実施。この経験を FB、Instagram を活用して伝え、スポーツワークショップの開催を検討。
- 対象者：家族や地元の人々とシェア。